# 滋賀県

# 「世界農業遺産」プロジェクト推進事業





# 世界農業遺産「琵琶湖システム」の特徴

- 水質や生態系に**配慮した農業**と、水源を涵養し、 河川で産卵する湖魚(ビワマスやアユなど)の 繁殖環境を守る**水源林保全**
- 男性と女性が協力して行う「**エリ漁」等の伝統的** な琵琶湖漁業
- **⑥ 伝統食(ナレズシ等)の漬け込み**と神様へのお供え
- 古代から続く、琵琶湖で回遊する**湖魚(ニゴロブナ やコイなど)が水田に遡上**し、産卵・繁殖
- 水田や琵琶湖における生き物の多様性と人の賑わい

# 「世界農業遺産」とは



● 世界農業遺産(Globally Important Agricultural Heritage Systems:GIAHS(ジアス))

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり発達し、形づくられた伝統的な農林水産業と、 それに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった**世界的に重要な農林水産** 業システムを国連食糧農業機関(FAO)が認定する仕組み

世界23か国72地域が「世界農業遺産」に認定されており、日本では、滋賀県琵琶湖地域を 含む13地域が認定されている(令和5年1月末現在)。

### 令和4年6月16日 FAOによる現地調査





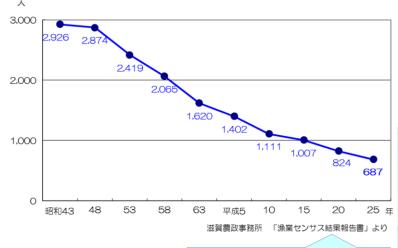


# 世界農業遺産「琵琶湖システム」を取り巻く課題



- ・農林漁業の担い手の減少
- ・消費の減少
- ・ 漁獲量の減少
- ・水産有害生物による食害・水草の異常繁茂
- ・湖辺のヨシ帯の減少
- ・「環境こだわり農業」の取組の伸び悩み
- ・伝統的漁法に関する知識・技術の伝承者の減少
- ・湖魚を中心とする伝統的な食文化の衰退 など

## 漁業就業者数の推移



#### …減少が継続している状況

### 「環境こだわり農産物」栽培面積と 化学合成農薬の使用量の推移



環境こだわり農産物---琵琶湖の水質に配慮した農業濁水対策、農薬・化学肥料の5割削減による栽培12

# 将来像:滋賀県の農業・水産業と関わる人のすそ野の拡大



本県の農業・水産業を持続的に発展させていくためには、**担い手**の確保・育成を進めるとともに、担い手を支える **地域の活力**(=支え手)や農畜水産物を購入する消費者(=買い手)の拡大を図る必要がある。

「琵琶湖システム」の世界農業遺産認定を契機に、その価値と魅力を発信し、農業・水産業と関わる「人のすそ野」を 拡大していくことで、「**担い手**」「**支え手**」「買**い手**」の安定確保につなげていきたい。

## 県民みんなで創る 滋賀の「食と農」を通じた「幸せ」

# 担い手

地域農業・琵琶湖漁業を 中心となって担う人や組織



## 支え手

地域農業・琵琶湖漁業の 担い手を支える人など

## 買い手

県産農畜水産物を率先して 購入する人 (ファン)



### 農業・水産業と関わる「人のすそ野」を拡大する















#### 担い手の経営力向上

- ・グリーン化(地域環境に配慮した農業生産の実現)
- ・スマート化(効率的な農業生産の実現)
- ・流通・販売の強化
- ・農地のフル活用に資するための農地の基盤整備
- ・儲かる漁業の実現

#### 新規就農者の確保

- 新規就農者の初期投資費用の軽減
- ・女性就農者、集落営農オペレーターの確保
- ・オーガニック野菜の担い手確保

#### 農山漁村の活性化

- ・農山漁村への移住の促進
- ・多様な主体との交流
- ・若者による応援、シニアの活躍

#### 琵琶湖システムの魅力発信

- ・次世代の学びの推進
- ・情報プラットフォームの構築
- ・体験・交流ツアーの実施

# 事業内容:「世界農業遺産」プロジェクト推進事業



目的

世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」を活用し、滋賀の農林水産業や県産食材の魅力を発信することで、関係人口の増加や担い手の確保につなげ、持続可能な農業・水産業と農山漁村の実現を図る。

方針

- 〇「世界農業遺産」に認定された「琵琶湖システム」を次世代に繋ぎ、生きる力を構築する「学び」を推進
- ○「世界農業遺産」の認知度向上と県産食材の消費拡大に向けた積極的な情報発信
- 観光資源としての活用や、多様な担い手に繋がるツアー造成に向けた多様な主体との連携推進

## 学ぶ

#### 「琵琶湖システム」を学ぶ

#### ○世界農業遺産を次世代に繋ぐための 学びの推進

- ・「世界農業遺産」を学ぶ動画・学習教材の 制作、フローティングスクールとの連携
- ・県内施設 (琵琶湖博物館や県立図書館等) との連携によるギャラリー展の実施
- ・県内外の学校等へ出前講座の実施

### ODERSON WAS MASSES WAVES TO THE TOTAL TO T



## 食す

### 「琵琶湖システム」を食す

#### 〇世界農業遺産関連の県産食材消費拡大 に向けた情報プラットフォームの構築

- ・SNSによる拡散や相互発信、交流などの 戦略的発信の展開
- ・参加・交流型イベントの開催等



## 訪れる

### 「琵琶湖システム」を訪れる

#### ○「琵琶湖システム」体感ツアーの造成

・農山漁村の価値や魅力を取り入れた体感 ツアー商品の造成等

> スマート農業や琵琶湖漁業等の体験 農山漁村におけるワーケーション 世界農業遺産メニューの提供 等

・ホームページ改修による情報の集約と発信 力の強化



滋賀の農林水産業の「ファン」の拡大 多様な担い手の確保 持続可能な滋賀の農業・世界農業遺産の認定を契機

水ど

産業に

山

実

現

### 寄附企業様のメリット

- 事業への御寄附を通じたSDGsへの 貢献
- № 各種イベントにおける企業名の表示
- 感謝状、記念品の進呈
- ・ 県ホームページに企業名を掲出、 SNSを通じた寄附のPR

社会貢献によるブランディング、企業 のイメージアップ、認知度の向上、県 との新たなパートナーシップの構築

### 御連絡先

#### 滋賀県農政水産部農政課

企画·世界農業遺産係

(琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会事務局)

電話:077-528-3585 FAX:077-528-4880

E-Mail: shiga-giahs@pref.shiga.lg.jp











